

## Coff. に対する巨匠たちの理解（抜粋）

### ◆全体＝敏感さ・感覚鋭敏とそれに伴う興奮と不眠

#### ケント

「このレメディは全身の敏感さが特徴である。視覚、聴覚、嗅覚、触覚、痛みへの敏感さがあり、この敏感さに非常に驚くことだろう。特に騒音で痛みが悪化する。聴覚の感度が非常に高いため、音が痛く感じる。頭痛、歯痛、下肢の痛み、あらゆる痛みの患部が音で悪化する。」

#### ナッシュ

「全ての感覚が鋭敏である。細かい活字をたやすく読むことができる。心身ともに異常に活発で、アイデアが豊富で、すぐに行動ができる。それゆえに眠れないほどである。」

#### クラーク

「Coff. の大きな特徴は、感覚の高揚と敏感さである。視力が改善し、匂いの感覚が高まる。感覚が高まるため、どんな痛みにも耐えられない。精神活動も高揚し、突然の感情、特に喜びが危険な症状を引き起こす。」

#### ヴィソルカス

「Cocc. の様に、Coff. も不眠の悪影響から示唆されるレメディである。しかしこの2つには際立った違いがある。Cocc. がスローダウンしているのに対し、Coff. は加速している。神経系は速く働き、肉体的な感覚は素早く行き渡る。考え・感情・行動もしかりで「素早い」が Coff. である。」

### ○頭部の問題＝神経の興奮と脳血管への影響

#### ファリントン

「精神の興奮状態により脳血管の充満を引き起こしている場合、脳卒中の鬱血が Coff. で治癒する可能性がある。」

#### ケント

「頭部の熱感、紅潮した顔、キラキラ輝く目は、脳卒中の恐れがある。患者の頭の中で「音」が鳴り響き、轟音が聞こえると言うかもしれない。後頭部にひび割れる音や泡立つ音が聞こえる。頭の衝動の独特の感覚を耳鳴りや音と間違えている。脳の表面が強く押されるような頭の痛み、これは鬱血から来る圧迫である。」

「ルーティンの処方者は、頸動脈がドクドクして熱い顔をしている子供に Bell. を投与する。それが作用しない場合、再び Bell. を投与し、子供がプルービングするまで投与量が増え続ける。Coff. で治ったであろうに、子供を Bell. 状態にしてしまう。Bell. が

示唆されるのは、鈍くてボウっとして眠たい子供である。Coff. の子は興奮して、母親には訳が分からないものを見たり聞いたり、いろんなことを想像する。」※Coff. の子は全く眠たくない！」

## ○精神＝

### モリソン

「精神の興奮により極端に恍惚となった状態になる。感覚は鋭く、思考が速い。このため、巡る考えや思いが制御できなくなる。しかし精神への刺激が過剰になると、病理が進んでいく。」

### サンカラ

「Coff. は自分が孤立を感じないように、他人の利益のために勤勉で生産的で創造的になる。慈悲深く、他人のために何かをする時にのみ、自分が受け入れられていると感じる。そのために夜通し座ったまま眠らず、人のために働いたり創造したりする。」

### モリソン

「Coff. は、過敏で、神経質で、過剰反応を示す。意思の弱さや Staph. のような強い忍耐力があり、抑圧している。あるいは家族や配偶者から虐待されているかもしれない。」

### ヴィソルカス

「厳しさの欠如が Coff の真の問題であると言えるだろう。Coff. は非常に繊細で興奮した人で、決断をするなどの意志の強さが欠けている。苦しみを楽しむ傾向があり、ある種の不安がある。」